

熊本県立南稜高等学校生徒歌
作詞・作曲 犬童 球溪

一 じんかん はる 塵寰遥かなたけくへだ彼方に隔て
こここうどん 茲へいや神殿の平野なかの中に
つど 集おおえる雄々せんよしき千余けんじの健児
からだ 体軀きたを鍛錬こころえて精神みがくを琢磨
くま 球磨ながれの流たえまの絶間なく
まな 学われらぶ我等いきの意気たか高し

二 あした たがや 旦たはたに耕す田畑くれの塊を
くだ 碎ふこくきて富国よの良き種子たねおろし
ゆうべ 夕つちかに培う苗木なえぎの末すえの
さかえ 繁栄よろこを喜われらぶ我等つとめが任務
ひたい 額あせの汗たまの玉たまにこそ
くに 国ひかりの光やどるは宿なれ

三 われら さはあれ我等りそうの理想とおは遠く
わ 分いけ入る学まなびの奥おくかは深ふかし
こころ 心むちうに鞭打たゆち撓うまず倦うまず
がくり 学理きわを窮じっちめて実地ならを習ならう
いちふさやま 市房山たかのいや高たかき
きぼう 希望みねの峰よを攀よじんかな